

## 2020年度前期授業の遠隔授業化にあたって

畿央大学では、5月31日（日）までの期間について、登学を必要とする対面での授業を行わないことをお知らせしていましたが、引き続きコロナウイルス感染予防を図りながら、大学教育の持続と新たな可能性を模索するため、本年度前期の全授業を原則として遠隔授業で実施することを決定しました。再々の延長となり、学生の皆さんにはご負担をおかけしますが、ご理解の程よろしく願いいたします。なお本学では今後も遠隔授業が続くことに鑑み、皆さんの自宅のネット環境整備等費用として、全員に3万円の学生支援奨学金を給付することとしました。本奨学金を活用して、自宅におけるネット環境の整備をすすめていただくよう、よろしく願いいたします。

一方、現在各学科、専攻科、研究科において、実験・実習等、本学の施設や設備を用いることや、対面での対応が不可欠な授業およびその回数等を検討中です。対象となる科目についてはスケジュールの調整や三密にならないための実施方法等を併せて考慮します。また、感染状況の改善、府県をまたぐ移動の容認など、社会状況についても検討する必要があるため、6月中の開始をめざしてはいますが、対面授業を実施する授業やスケジュール等、詳細の発表にはもう少し時間がかかります。状況をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。方針の変更にあたり、以下に2020年度前期授業の基本的な考え方を整理して示します。

### ★2020年度前期授業の基本方針

#### 1) 遠隔授業の基本的な考え方

文部科学省はコロナウイルス感染の拡大防止措置として、対面授業と同様に教育効果を有すると認める(1)「同時」かつ「双方向」に行われる「同時双方向型遠隔授業」と、(2)授業終了後に設問解答、添削指導、質疑応答、意見交換等による指導を行える「オンデマンド型遠隔授業」の活用を求めています。本学ではこの方針に沿って、これまで主に次の3つの方法を用いて遠隔授業を実施しています。

- A. OpenCEAS を用い、主として教員が提示する資料・課題をもとにレポート等の解答を提出。その後教員による添削指導、質疑応答等を行うオンデマンド型授業。
- B. OpenCEAS の他に Microsoft Teams、メール等のツールを用いることで、動画や音声を組み合わせた資料・課題をもとに解答を提出。その後教員による添削指導、質疑応答等を行うオンデマンド型授業。
- C. Microsoft Teams 等のツールを用い、面接授業に近い環境で時間割通りに講義や、双方向でやり取りを行う同時双方向型授業

A や B の方法では教員が資料や課題をアップして授業を実施し、学生の皆さんはそれをもとにして課題を作成し提出します。資料や課題は時間割通りに公開されるわけではありません。指導は科目によって、解答、添削指導、質疑応答の他、助言をメール、郵送等に

より行い、受講生による意見交換の機会を設けることを想定しています。遠隔授業として最も基本的な方法です。一方、Cの方法では、その授業科目の曜日・時限内に実施し、受講生による意見交換や質疑応答を同時双方向で行っています。

## 2) 授業の形態と課題の課され方等について

本学では OpenCEAS を基本にして教員と学生の皆さんがコミュニケーションを維持しつつ、他のツールも取り入れて遠隔授業を実施しています。全ての授業科目が同時・双方向で行われるわけではありませんが、授業は定期的に配信されます。不規則な生活とならないよう、また週ごとに課題に取り組めるように、各自で計画的に受講をすすめてください。課題の提出期限にも十分に注意してください。今後は中身を充実させていくために、それぞれの授業科目の内容に合わせて様々な方法を工夫していく予定です。また、受講科目によってはテレビ会議システム Zoom や YouTube 等、上記以外のツールを活用した授業が行われることもあります。その際は皆さんの受講環境にできる限り配慮するようにしています。

## 3) 出席確認について

遠隔授業期間での出席確認は、授業科目によって方法が異なります。同時双方向型授業ではオンライン上での出席管理、オンデマンド型授業では確認的な課題の提出などにより把握します。すべて担当教員の指示にしたがってください。

## 4) 実技・実験・実習・演習系授業等について

本学の施設や設備を用いることが不可欠な授業等については、対面授業実施の可能性をさぐっているところです。実施する科目およびそれぞれの実施要領（日程・回数等）が確定したときは、KiTss を通じてお知らせしますので、各自で確認してください。対面授業が不可欠で、特例的な措置でも対応できないと判断するものについては、後期・次年度以降等、実施時期の後ろ倒しにより対応する場合があります。

## ★遠隔授業にともなうシラバス、学年暦等の変更について

### 1) シラバスの変更と試験の実施・評価について

2020 年度前期の授業が遠隔授業に変更となることで、シラバスに記載されている「授業計画」や「成績評価の方法・基準」等の変更を行う科目があります。特に成績評価の方法は一斉に実施する定期試験に限らず、レポートの活用による学習評価等、到達目標に応じて適切な評価を行う予定です。検討の上、シラバスの変更とともに発表予定ですので、今後の KiTss からの連絡や担当教員の指示に注意してください。

### 2) 学年暦について

前期授業期間は予定通り 4 月 10 日（金）から 8 月 7 日（金）まで、前期成績通知日も 9 月 1 日（火）を予定しています。ただし、遠隔授業を中心とするため、補講日となっていた 6/20（土）、7/10（金）も時間割通りでの授業を行います。また、対面授業を実施することになった場合に、夏期や休業日に授業を行うことがあります。

### 3) 夏期集中講義について

今回の措置は現在のところ、前期開講科目を対象としています。「夏期集中」としている授業科目については、今後の状況により判断します。

★学習環境整備について

1) 通信環境について

パソコンや情報ネットワーク、情報機器全般に関することは、教育学習基盤センターに相談してください。また、今後の状況によっては、行政による判断も踏まえつつ、教室内で受講生同士が接近しないような措置を講じるなどの感染防止対策を講じたうえで、学内で遠隔授業を受講することができるようにすることも検討しています。こうした対応については、KiTssを通じてお知らせしますので、各自確認してください。

2) 図書館等の利用について

図書館は5月20日(水)現在閉館の状態となっています。こうしたなかで、図書館資料の利用やデータベースなどの電子コンテンツの利用をすすめるため、郵送による図書の貸出し(全学生)と、電子コンテンツについては自宅からのリモートアクセスを可能にしました(期間限定・対象者限定)。詳しくは畿央大学図書館ホームページの「重要なお知らせ」をご覧ください。

また、本学図書館の利用経験のない新入生に対しては、本学図書館を説明する資料として、学生ハンドブックおよび図書館ホームページ内の「学内の方へ」に掲載して案内していますので参考にしてください。

以上

畿央大学  
学生支援センター